

東京女子医科大学学会

2026 年評議員会および第 92 回総会報告

開催方法：WEB 表決方式

表決期間：2026 年 9 月 9 日（水）～ 2026 年 9 月 24 日（木）

集計・議決日：2025 年 9 月 25 日（金）

会員総数（正会員／名誉会員）：585 名

表決権行使者数：56 名

投票率：9.57% ※未回答は承認とみなした

議題および議決結果：

【議題 1】庶務報告承認の件 承認 56 名（585 名）、非承認 0 名、結果 承認

【議題 2】2025 年度決算報告承認の件 承認 56 名（585 名）、非承認 0 名、結果 承認

【議題 3】2026 年度予算案承認の件 承認 56 名（585 名）、非承認 0 名、結果 承認

質問と回答：なし

2026 年 9 月 2 日（水）の評議員会の決定に基づき、WEB 表決方式にて実施した結果、すべての議題について承認されたことを報告する。

【議題 1】庶務報告（2025 年 1～12 月）

1. 会員：2026 年 4 月末現在、正会員 561 名（学内 437 名、学外 124 名）、名誉会員 94 名、準会員 1,041 名、特別会員 0 名、合計 1,695 名。正会員は前年の 595 名から 34 名減少し、入会 28 名、退会 62 名であった。
2. 和文誌『東京女子医科大学雑誌』：95 巻 1～6 号を電子版で 6 回、冊子版は合本号を 1 回発行し、20 篇を掲載した。投稿から初回採否結果通知までは平均 27.8 日、最終採否結果通知までは 53.2 日であった。
3. 英文誌『Tokyo Women's Medical University Journal』：Volume 9 に 12 篇を掲載した。Submission から First Decision までは平均 29 日、Final Decision までは平均 58 日であった。
4. 集会：第 371 回例会、第 372 回例会、第 91 回総会および評議員会を開催した。
第 371 回例会では、研究奨励賞受賞者研究発表を 2025 年 2 月 22 日～3 月 1 日にオンデマンド配信、研修医症例報告 26 題を 2 月 22 日午後にハイブリッド形式で実施した。
第 372 回例会は、2025 年 5 月 22 日にハイブリッド形式で実施した。記念講演は、「吉岡彌生先生の精神から学ぶ」と題して 1978（昭和 53）年本学卒業生で恩賜財団母子愛育会総合母子保健センター愛育病院 名誉院長の安達知子先生より、また日本貿易振興機構アジア経済研究所開発研究センター 主任研究員の牧野百恵先生より「実証経済学からみるジェンダー格差」と題してご講演いただいた。
第 91 回総会は、2025 年 9 月 27 日に、総会は WEB 決議、公開シンポジウム「変貌する脳神経診療－最新治療と未来地図－」は 5 名の講師によるハイブリッド形式で実施した。
5. 記念楯：学会主催 2 個、その他 10 個を利用した。
6. 新名誉会員：2026 年 8 月までに名誉教授の称号を贈られた加茂登志子先生、檜垣祐子先生、新田孝作先生、岡本高宏先生、服部元史先生、市原淳弘先生、川俣貴一先生の 7 名に名誉会員の称号を贈る。
7. 幹事・監事改選：2026 年 10 月～2028 年 9 月の任期について、編集担当幹事に 7 名、集会担当幹事に 6 名、監事に 1 名を新たに迎え、編集担当幹事 23 名、集会担当幹事 16 名、監事 2 名の体制とした。
編集担当幹事：明石定子 教授・基幹分野長（乳腺外科）、有泉俊一 准教授（肝胆膵外科）*、△本多祥子 准教授（神経分子形態学）、井坂珠子 准教授（呼吸器外科）*、石田英樹 教授（移植管理科）、石垣景子 准教授（小児科）、水主川純 教授（入試センター）、小松康宏 主任教授（医療安全学）*、森本聡 教授（足立内科）、○中村史雄 教授・基幹分野長（生化学）、▲野原理子 教授・基幹分野長（公衆衛生学）、小川哲也 教授（足立内科）、◎齋藤聡 教授（心臓血管外科／臨床工学科）、櫻井裕之 教授・基幹分野長（形成外科）、佐藤暢夫 教授（集中治療科）*、篠崎和美 准教授（八千代眼科）、鈴木敦 講師（循環器内科／医学教育学）*、高梨潤一 教授（八千代小児科）、種田積子 教授・基幹分野長（病理診断科）*、辻村貴子 講師（看護学部）*、山本俊至 教授（ゲノム診療科）、○山村幸江 准教授（耳鼻咽喉科）、吉澤浩志 教授（八千代脳神経内

科)

集会担当幹事：○秋澤叔香 准教授（看護学部）、江黒葉子 講師（内分泌外科）＊、福屋泰子 臨床教授（皮膚科）＊、△本多祥子 准教授（神経分子形態学）、市川順子 教授（足立麻酔科）＊、石津綾子 教授・基幹分野長（顕微解剖学）、松本卓子 准教授（医学教育学）＊、村崎かがり 教授（予防医学科）、長尾元嗣 教授・基幹分野長（糖尿病・代謝内科）＊、中村真一 教授（消化器内科）、▲野原理子 教授（公衆衛生学）、齋藤聡 教授（心臓血管外科／臨床工学科）、◎清水優子 教授（脳神経内科）、高梨潤一 教授（八千代小児科）、柳澤直子 教授・基幹分野長（微生物学免疫学）、米澤麻利亜 臨床講師（消化器内科）＊

監事：降矢芳子 教授（足立リハビリ）、水足邦雄 教授・基幹分野長（耳鼻咽喉科）

〔◎幹事長 ○副幹事長 ▲会計 △庶務 ＊新任 ABC 順〕

8. 新評議員：

2025 年 8 月～2026 年 7 月に准教授以上に就任した 24 名を新評議員に推薦し、評議員会で承認された。

また、9 月 7 日～9 日正午に、1 名を追加推薦するメール審議を行い、承認された。

八岡利昌 准教授（総合診療科）＊、関 康史 准教授（高血圧・内分泌内科）、梶本 完 教授（足立心臓血管外科）＊、岸野真衣子 准教授（消化器内視鏡科）、吉田一彦 准教授（泌尿器科）、宮野 裕 准教授（足立呼吸器外科）、横溝 肇 准教授（足立外科）、碓井健文 准教授（足立外科）、淵脇麻紀子 准教授（腫瘍内科）＊、海上耕平 准教授（移植管理科）、勝又康弘 教授（膠原病リウマチ内科）、長尾元嗣 教授・基幹分野長（糖尿病・代謝内科）＊、志関雅幸 教授（感染制御科）＊、佐藤暢夫 教授（集中治療科）＊、福屋泰子 准教授（皮膚科）＊、伊藤 純 准教授（腎臓内科）＊、武藤 剛 准教授（衛生学公衆衛生学）＊、永田万由美 准教授（足立眼科）＊、白井陽子 准教授（腎臓小児科）、片岡浩史 教授（腎臓内科）、平野佳男 教授・基幹分野長（眼科）＊、山口英宣 准教授（足立救急医療科）、高橋宏信 准教授（先端生命研）、岩倉菜穂子 准教授（八千代整形外科）、小松康宏 主任教授（医療安全学）〔就任順 ＊新任〕

【議題 2】会計報告：2025 年度決算報告（2025 年 4 月～2026 年 3 月）

（収入の部）会費収入 2,912,000 円、雑誌刊行収入 612,144 円、盾売却収入 213,235 円、雑収入 66,694 円となり、収入合計は 3,804,073 円で、予算比 752,927 円の減少となった。会費徴収率は 82.5%で、前年度の 78.1%から改善した。雑誌刊行収入は、英文誌・和文誌とも掲載論文数が予想を下回ったこと等による減少。雑収入は、預金利率の上昇による利息収入の増加による。

（支出の部）集会費 1,368,481 円、出版費 3,344,198 円、経常費 93,818 円となり、支出合計は 4,806,497 円で、予算比 2,983,503 円の減少となった。出版費は、英文誌向上を目的とした編集サポート費用の次年度持ち越し等による減少、経常費は HP 更新費、OA 関連費、備品費の支出がなかったことによる減少。

収支差額は 1,002,424 円の赤字となったが、前期繰越金 37,365,601 円を加え、次年度繰越金は 36,363,177 円となった。単年度赤字ではあるものの十分な繰越金を確保しており、学会運営への影響はない。また、今後も会員数の維持・増加および投稿数の確保に努め、効率的かつ持続可能な学会運営を行う方針である。

以上の報告は、降矢芳子・水足邦雄両監事による監査の結果、問題ないことが報告され、承認された。

2025年度 東京女子医科大学学会 会計報告・監査報告

2025年4月1日～2026年3月31日

(収入)

<単位:円>

科 目	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備考
1. 会費収入	3,200,000	2,912,000	▲ 288,000	継続会員数減少
2. 雑誌刊行収入	1,117,000	612,144	▲ 504,856	掲載論文数減少、広告協賛なし
3. 盾売却収入	220,000	213,235	▲ 6,765	
4. 雑収入	20,000	66,694	46,694	預金利率上昇
収入合計	4,557,000	3,804,073	▲ 752,927	

(支出)

<単位:円>

科 目	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備考
1. 集会費	1,395,000	1,368,481	▲ 26,519	
2. 出版費	5,995,000	3,344,198	▲ 2,650,802	新業務委託費用を次年度へ繰越
3. 経常費	400,000	93,818	▲ 306,182	
支出合計	7,790,000	4,806,497	▲ 2,983,503	

収支差額	▲ 3,233,000	▲ 1,002,424	—
前年度繰越金	37,365,601	37,365,601	—
次年度繰越金	34,132,601	36,363,177	2,230,576

(総括)

2025年度は、会費収入および雑誌刊行収入の減少により収入が減少した一方、学会運営および雑誌刊行に係る支出を行った結果、単年度赤字となりました。今後も会員数の維持・増加および投稿数の確保に努めるとともに、効率的な学会運営を継続してまいります。

上記のとおり、2025年度の会計報告をいたします。

2026年 7月29日 野原 理子
(会計担当幹事)

監査の結果、上記の会計報告について適切に処理されていることを報告いたします。

2026年 7月30日 北足 邦雄
(監事)

2026年 8月6日 降矢 芳子
(監事)

【議題3】会計報告：2026年度予算案 (2026年4月～2027年3月)

(収入の部) 会費収入 2,930,000 円、雑誌刊行収入 2,373,000 円、盾売却収入 20,000 円、雑収入 60,000 円を計上し、収入合計は 5,383,000 円とした。会費収入は、会員数の減少傾向を踏まえ、前年度より 270,000 円減額した。雑誌刊行収入は、臨時増刊号発行と掲載論文数等を踏まえて計上した。

(支出の部) 集会費 939,000 円、出版費 5,705,000 円、経常費 403,000 円を計上し、支出合計 7,047,000 円とした。集会費は、学会開催に伴う講演費と交通費を計上したものの、特注楯の作成予定がないため減額した。出版費は、臨時増刊号の発行や英文誌向上サポート業務委託があるものの減額した。

収入合計 5,383,000 円、支出合計 7,047,000 円を計上し、1,664,000 円の支出超過を見込むが、前年度繰越金から補填することにより、次年度繰越金は 34,699,177 円を維持する見込みであり、今後も学会誌の質の向上と学術活動の活性化を図りながら、適切な財務運営に努める。

2026年度 東京女子医科大学学会 予算案

2026年4月1日～2027年3月31日

(収入)

<単位:円>

科 目	前年度予算額	本年度予算額	増減 (本年－前年)	備考
1. 会費収入	3,200,000	2,930,000	▲ 270,000	会員数減少を見込み減額
2. 雑誌刊行収入	1,117,000	2,373,000	1,256,000	臨時増刊発行予定
3. 盾売却収入	220,000	20,000	▲ 200,000	
4. 雑収入	20,000	60,000	40,000	預金利息収入を反映
収入合計	4,557,000	5,383,000	826,000	

(支出)

<単位:円>

科 目	前年度予算額	本年度予算額	増減 (本年－前年)	備考
1. 集会費	1,395,000	939,000	▲ 456,000	特注掲載注予定なし
2. 出版費	5,995,000	5,705,000	▲ 290,000	英文誌向上施策および臨時増刊発行を反映
3. 経常費	400,000	403,000	3,000	前年度並み
支出合計	7,790,000	7,047,000	▲ 743,000	

収支差額	▲ 3,233,000	▲ 1,664,000	—	繰越金の範囲内で執行予定
前年度繰越金	37,365,601	36,363,177	—	
次年度繰越金	34,132,601	34,699,177	566,576	

【報告1】集会担当幹事会

- 第92回総会〔2026年9月26日(土)13:30～15:45 ハイブリッド開催〕:
公開シンポジウムは「難聴と認知症の意外な関係―難聴研究の最新知見―」を、4名の講師によりハイブリッド形式で開催する。
- 第375回例会〔2027年2月27日(土)弥生記念講堂〕:
一般演題と研修症例報告会の演題を10月31日(土)まで募集。弥生記念講堂での開催予定
- 第43回吉岡彌生記念講演会〔2027年5月24日(月)〕:
「吉岡彌生先生の精神から学ぶ」「招聘講演」ともに講師検討中

【報告2】編集担当幹事会

- 英文誌
 - ①2025年Annual Report【資料C】とCitation & Access (as of June 30, 2026)【資料D】
2017～2026年に発表した111本の論文について、総被引用数は66、一論文当たりの被引用数は0.59、2025年のPDFダウンロード数は24,474件であった。投稿数は2024年以降回復傾向にあり、今後さらなる発展を目指す。
- 和文誌
 - ①撤回論文のご報告
掲載論文1篇に研究不正の疑いが指摘され、本学の規定に基づく調査の結果、不正行為と認定された。編集担当幹事会では臨時的幹事会を開催し、対象論文を撤回する方針とし、撤回告知を公開した。再発防止策として、チェック結果の確認や幹事長・副幹事長による確認体制の強化等を進め、研究倫理・出版倫理の確保に努めることとした
 - ②2025年の年次報告【資料E】と被引用・アクセス状況(2026年7月2日時点)【資料F】
2025年の論文受付数は33篇、投稿から初回判定までは平均27日、最終判定までは平均53.2日であった。また、2023～2024年に減少した投稿数は2024～2025年にかけて回復傾向にあり、PDFダウンロード数も2019年以降12万件を超える水準で推移している。
 - ③第97巻掲載シリーズは「医療安全」を企画予定
 - ④第92回総会公開シンポジウム「難聴と認知症の意外な関係―難聴研究の最新知見―」の講演内容を掲載